

爪つめ白癬はくせんを治す



はじめに

従来は治りにくいと言われていた爪白癬も、
今ではきちんと治療をすれば治せる
ようになってきました。

爪白癬を治してきれいな足を
取り戻しましょう。



<目 次>

- Q1 爪白癬とはどのような病気ですか? 1
- Q2 なぜ爪白癬になるのですか? 2
- Q3 爪白癬は人にうつりますか? 3
- Q4 皮膚科医は、どのようにして爪白癬と診断するのですか? 4
- Q5 爪白癬は、どのような薬で治療するのですか? 5
- Q6 どれくらいの期間、薬を飲む必要がありますか? 6
- Q7 薬の副作用が心配ですが、大丈夫でしょうか? 7
- Q8 一緒に服用してはいけない薬はありますか? 7
- Q9 治療中、日常生活で注意することはありますか? 8

Q.1

つめはくせん

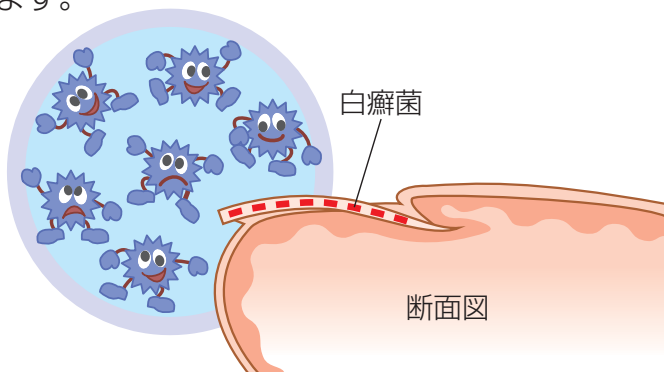
爪白癬とはどのような病気ですか？



爪白癬とは、爪の水虫のことです。

爪にカビの一種である白癬菌（水虫菌）が感染して、爪の色が白や黄色に濁ったり、爪の厚みが増して変形したり、爪がもろく崩れやすくなったりします。

爪の変化に気が付いても、痛みやかゆみを伴わないことが多く放置されることも多いのですが、きちんと治療をしないと爪白癬が治らないばかりか、爪が菌の貯蔵庫となり足白癬（水虫）を繰り返すことになってしまいます。



〈さまざまな爪白癬〉



爪の色が白や黄色に濁る。



爪の厚みが増す。



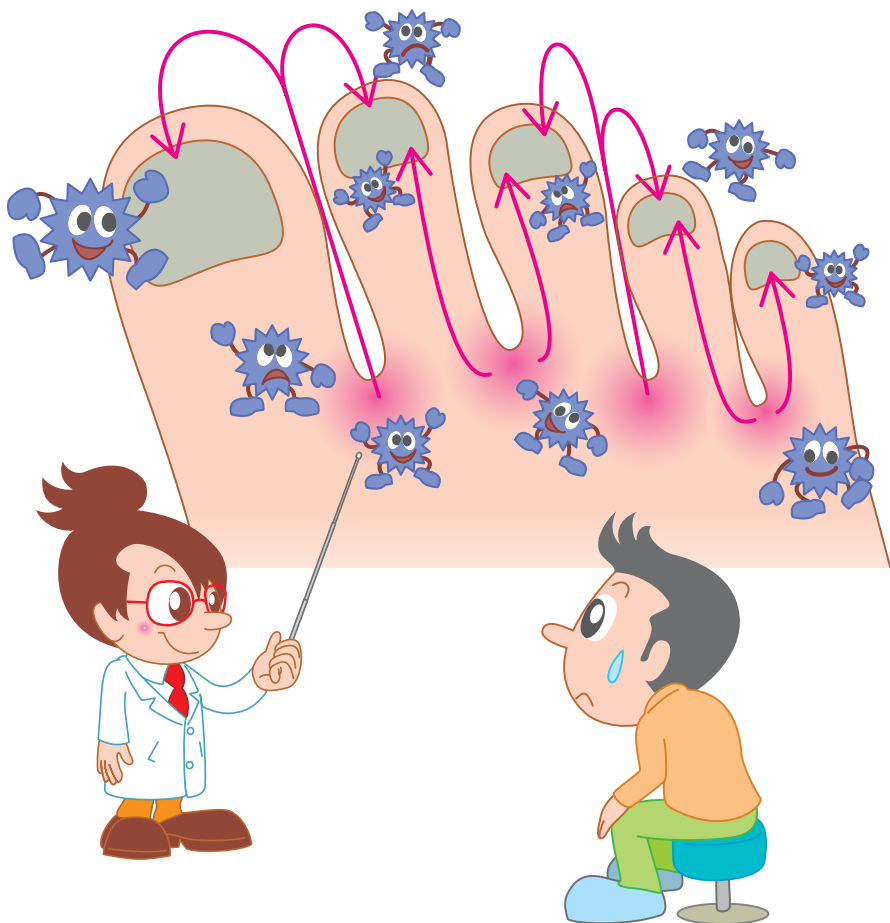
爪がもろく崩れやすくなる。

Q.2

なぜ爪白癬になるのですか？



足白癬（水虫）を長期間、治療しないで放っておくと、足の皮膚の白癬菌（水虫菌）が爪の中へ入り込んで爪白癬になってしまいます。



Q.3

爪白癬は人にうつりますか？



爪白癬は、足白癬（水虫）と同じように家族やまわりの人にうつります。

爪白癬になった爪は常に白癬菌（水虫菌）をばらまいていて、菌はいたるところでしぶとく生き続けます。

特に、スリッパやバスマットなどを介してうつることがよくあります。



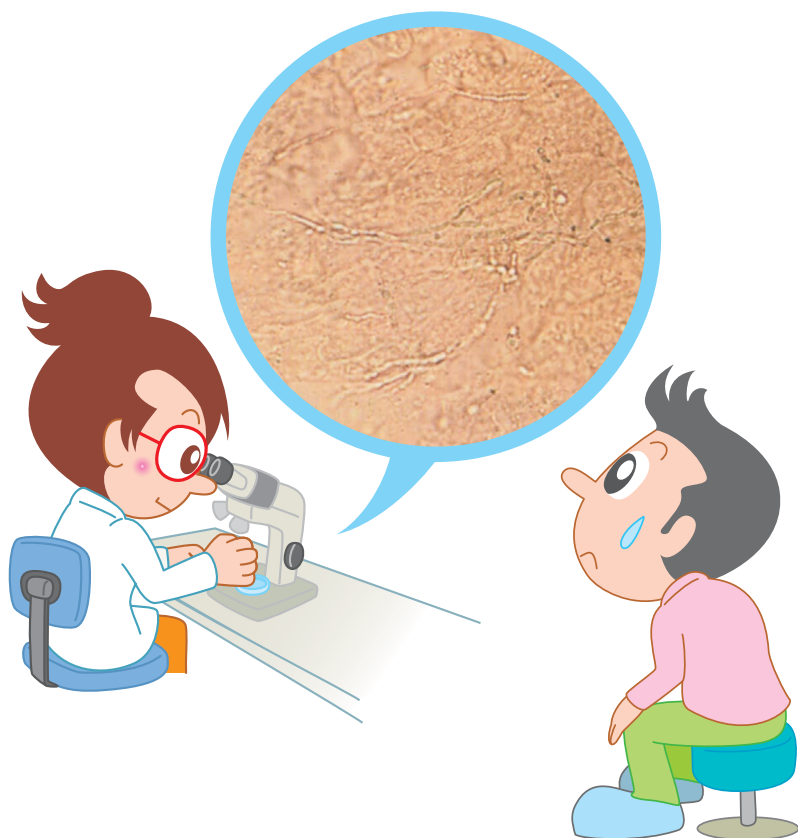
Q.4

皮膚科医は、どのようにして爪白癬と診断するのですか？



爪白癬と思われる爪の一部を顕微鏡で観察し、白癬菌がいるかどうかを調べます（直接鏡検）。そして白癬菌が見つければ、爪白癬と診断します。

爪白癬かどうかは、皮膚科医による検査ではじめて診断が可能となります。



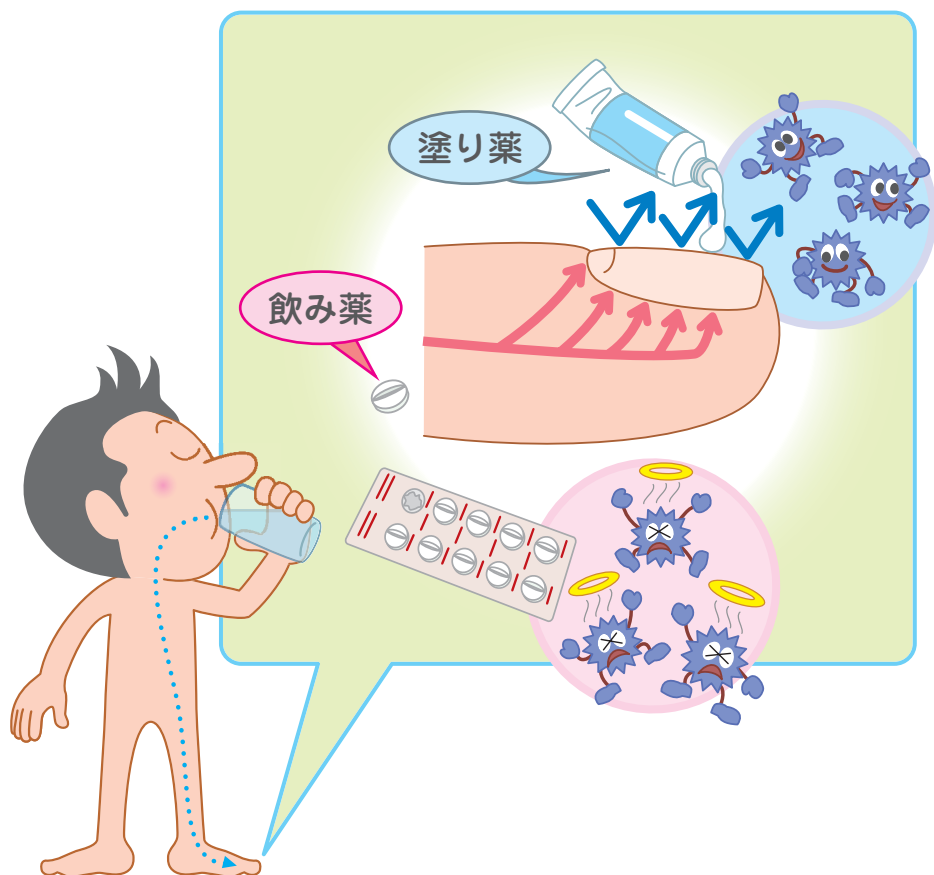
Q.5

爪白癬は、 どのような薬で治療するのですか？



爪の表面は硬いため、塗り薬ではなかなか爪の奥まで薬が届きません。そこで最近の治療では、爪の内側から作用する飲み薬がよく用いられています。

飲み薬と塗り薬の両方で治療することもあります。



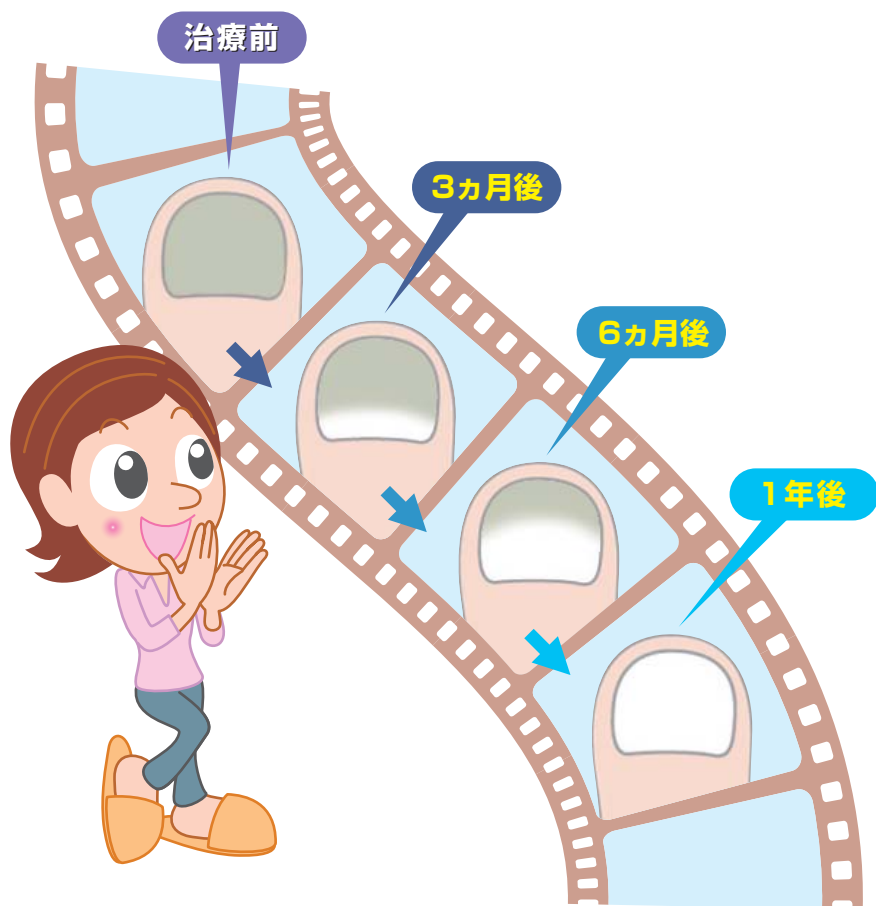
Q.6

どれくらいの期間、薬を飲む必要がありますか？



症状により異なりますが、3～6カ月くらい飲む必要がありますので、根気よく治療を続けましょう。

なお、薬を飲み終わった後も新しい爪に生え替わるまでには、さらに数カ月かかります。



Q.7

薬の副作用が心配ですが、大丈夫でしょうか？



飲み薬を服用する場合には、あらかじめ血液検査を行い、肝臓や血液に対する副作用を未然に防ぐようにしています。

検査は、薬の服用中は定期的に行います。

なにか不安に思うことがあれば、医師に相談してください。

Q.8

一緒に服用してはいけない薬はありますか？



薬によっては飲み合わせの悪いものがあります。

他に服用している薬がある場合には、医師または薬剤師にきちんと伝えてください。



Q.9

治療中、日常生活で注意することはありますか？



きれいな爪を取り戻すために、以下の2点

1 勝手に薬の服用を中止しない。

お薬は、医師の指示通りに服用しましょう。自分の判断で勝手に服用をやめて、再発を繰り返す人がたくさんいます。



完治を目指して
がんばって治療しましょう!



に注意しましょう。

② 再び感染しないように注意する。

再び感染しないように、足を清潔にして通気性を保って、白癬菌（水虫菌）が増殖しない環境を心がけましょう。

家族に感染している人がいたら、一緒に治療しましょう。





キャラクターの説明

足白癬や爪白癬は、生活の西洋化（靴を履くこと）によって広がったと言われていますので、鎧と盾で白癬菌を予防して、槍で撃退（治療）する「西洋の騎士」をイメージしています。

医療機関名：